

公益財団法人応用科学研究所

令和 7 年度第 1 回理事会議事録

1. 開催日時 令和 7 年 5 月 26 日（月）14：00～15：30
2. 開催場所 公益財団法人応用科学研究所森記念研究棟 2 階会議室
京都市左京区田中大堰町 49 番地
3. 理事現在数及び定足数
現在数 10 名、 定足数 6 名
4. 出席理事数 10 名
（本人出席）大原 久典、大野 正夫、川崎 一博、北野 正雄、久保 愛三、中務 陽介、成宮 明、
野村 俊雄、松岡 裕明、山路 伊和夫
（監事出席）西 亨、村上 博保
（議案説明及び報告）久保理事長、北野副理事長、野村常務理事、成宮常務理事、松岡理事
5. 議 案 第 1 号議案 『令和 7 年度事業報告書及び附属明細書、収支決算書及び附属明細書
並びに財産目録の承認』を求める件
第 2 号議案 『令和 7 年度定時評議員会の招集』に関する件
第 3 号議案 『令和 7 年度定時評議員会に提案する次期理事候補』の件
第 4 号議案 『令和 7 年度定時評議員会に提案する次期監事候補』の件

報告事項 1. 中信ビジネスフェア出展報告（応研認知活動として）
2. 職務執行状況報告（令和 7 年度第 1 回）

6. 開会・議長の選出並びに議事録署名人の選出

(1) 定足数の確認等

14：00 に野村事務局長が理事 10 名及び監事全員の出席を確認し、久保理事長の冒頭の挨拶の後、事務局長から本会議の議事進行及び議案資料について説明があった。

(2) 開会及び議長の選出並びに議事録署名人の選出

定款第 46 条に基づき久保理事長が議長となり、本会議の成立を宣言した。

議事録署名人は定款第 51 条の規定に基づき、久保理事長、北野副理事長、西監事、及び村上監事とし、議案の審議に移った。

7. 議事の経過の概要及びその結果

第 1 号議案『令和 7 年度事業報告書及び附属明細書、収支決算書及び附属明細書並びに財産目録の承認』を求める件

議長の求めにより、まず事務局から詳細の説明が行われた。引き続き議長から、去る 5 月 15 日に公益財団法人応用科学研究所応接室において行われた監査の結果について、監事の報告が求められ、西監事から業務監査の結果について、監事監査規程に基づき、事業報告書及び理事の職務の執行について問題がなかったことが報告された。また村上監事からは、監事監査規程に基づき会計帳簿並びに関係書類の閲覧を行い、計算書類及び附属明細書並びに財産目録は法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に示しているものと認める旨、報告

された。

これらの説明に基づき、第 1 号議案について議長から各理事の意見が徴された後、全員異議なく、本件は可決承認された。

第 2 号議案『令和 7 年度定時評議員会の招集』に関する件

議長から下記の説明があった。

本理事会で審議承認された令和 6 年度事業報告書及び附属明細書、収支決算書及び附属明細書並びに財産目録について、令和 6 年事業年度終了時から 3 ヶ月以内に内閣府への報告を必要とし、それまでに定時評議員会で承認を求める必要があることから、来る 6 月 16 日に本年度定時評議員会を招集することの必要理由が説明され、審議の結果、この提案は全員異議なく承認された。

第 3 号議案『令和 7 年度定時評議員会に提案する次期理事候補』の件

議長から下記の説明があった。

本法人の現理事は本年 6 月の定時評議員会をもって任期満了となる。公益財団法人に移行して以来 14 年が経過し、11 年前に新しく発足した機械基盤研究事業もコア事業として確り根付いてはいるものの、この間の経営環境の変化により、経営上の課題も多く抱えていること。

このような状況の中で本法人の更なる発展を図るためには、従来の経緯を踏まえた上での運営と改革に加えて、新たな発想が必要であり、今回は、一部の重任理事の他に、新たに 2 名の新理事を迎えたいこと。即ち、現在評議員の三阪佳孝氏には、高周波熱錬(株)での豊富なキャリアを活かして頂くべく、令和 7 年 6 月の定時評議員会をもって評議員を退任して頂き、新たに次期理事に就任して頂くこととしたい。また引原隆士氏には、専門分野における豊富な産学連携経験や、長きにわたる共同研究員などを通じての応研活動への理解を活かして頂くべく、新たに次期理事に就任して頂くことが適切と考えられるとの説明があった。

これらの経緯から、川寄理事と野村理事を除く現理事 8 名と、三阪理事と引原理事を加えた計 10 名を次期理事として評議員会に提案することが諮られ、全員異議なく了承された。

第 4 号議案『令和 7 年度定時評議員会に提案する次期監事候補』の件

議長から下記の説明があった。

本法人の現監事は本年 6 月の定時評議員会をもって任期満了となる。公益財団法人に移行して以来 14 年が経過し、11 年前に新しく発足した機械基盤研究事業もコア事業として確り根付いてはいるものの、この間の経営環境の変化により、経営上の課題も多く抱えていること。

このような状況の中で本法人の更なる発展を図るためには、従来の経緯を踏まえた上での運営と改革を進めていく必要があり、その観点からは現監事全員の再任をお願いするのが適切と考えられるとの説明があった。

これらの経緯から現監事 2 名全員を次期監事として評議員会に提案することが諮られ、全員異議なく了承された。

8. 報告事項

議長の求めにより、下記 2 件の報告があった。

(1) 中信ビジネスフェア出展報告について、成宮常務理事より報告された。

(2) 職務執行状況報告（令和7年度第1回）

令和7年度第1回職務執行状況の報告については、別添の配布資料を元に説明があった。報告者はそれぞれ《全般運営》が久保理事長、北野副理事長、野村常務理事及び成宮常務理事、《研究開発運営》が久保理事長及び成宮常務理事、《総務・工場運営》が野村常務理事、成宮常務理事、松岡理事であった。

以上をもって全ての議案の審議及び報告は終了したので、議長は閉会を宣し、解散した。

上記の決議を明確にするため、定款第51条により、出席した理事長、副理事長、並びに監事が議事録署名人としてこれに署名押印する。

令和7年5月26日

公益財団法人応用科学研究所令和7年度第1回理事会

議事録署名人 理事長 久保 愛三

議事録署名人 副理事長 北野 正雄

議事録署名人 監 事 西 亨

議事録署名人 監 事 村上 博保